

クライアントの度量

コンサルタントに異変あり？
 と思っていたところに新聞広告
 で目にとまった、『謙虚なコン
 サルティングクライアントにと
 って「本当の支援」とは何
 か』。このタイトルで内容は何
 となく想像。書店で立ち読みし
 て、しかり。買わずとも、人
 には勧めています。これからの時
 代どの仕事もコンサルティング
 のスキルな必要になりますか
 ら。但し「本当の支援」は、支
 援者の<本質>の謙虚さは当然
 として、クライアント側の度量
 にこそ鍵があると思えます。

**「人生戦略」**

『LIFE SHIFT 100年時代の
 人生戦略』がよく売れているよ
 うです。もつものは限られ、世
 の中では不確実に満ちて、それ
 でもどう自分の思う未来を創
 るか。人生を戦略的に考えるこ
 とは今も昔も個々人のテーマ。人
 から言われて急き立てられるこ
 とはありませんが、時々立ちど
 まり、人生を俯瞰して、自問自
 答することは欠かせません。

そのためにも読書や人の知に
 ふれることが大事なんです。

LEE'S リーズ
<http://www.leeslee.com>
 〒530-0012
 大阪市北区芝田2丁目8-15
 北梅田ビル35号
 リー・ヤマネ・清実

「コンサルティング」に光らす目

昨年9月に起業塾の受講者から
 聞いた話。フェイスブックには自
 称コンサルタントが溢れていて、
 不届きな人も少なくない。当の受
 講者も高額なセミナーを受けて、
 何これ…だったそうで、『いい社
 会勉強をさせてもらいました』。

今年の夏に聞いたのは、国家資
 格をもつ独立コンサルタントが相
 談者の意思を把握しなまま、方策
 を提案し、事を運んで、事業所に
 混乱を来たしたとか。『経営者の
 人、いまその後始末に追われてい
 るそうですよ』。

仕事上のごく限られた人たちか
 ら別々に耳に入ってきたコンサル
 タント事情。他にも、自分の答え
 ありきの人、語気強く相手を追及
 する人、その末に泣かしてナンボ
 と思っているような人も。

「～コンサルタント」もまた時
 代を映す鏡。俗にいう「サムライ

業」の他にいったいそれほどの数
 があるのでしょうか。一覧にしたサ
 イトがないかと試しにネット検索
 してみました。うまくキャッチ
 できませんでした。

バブルの後、知的労働が労働の
 中心になり、新旧ともに様々なコ
 ンサルタントが溢れて、中には無
 理、無駄なコンサルティングをす
 る人も現れている様子。

AI時代にもコンサルティング
 の業務は残るといいます。「サム
 ライ業」も今後は業務の中心をコ
 ンサルにおくと日経新聞の特集で
 紹介していました。

自他ともに「コンサルティング」
 に目を光らせる必要がありそ
 うです。自分への誠めとしても、
 コンサルティングを仕事にする者
 は心がけたい、

押れず、押さえず、押し付けず！

くらしの足元、地域につくる<ユートピア>

新聞に「AI」の文字を見ない日
 はないほどの昨今。2014年暮れの新
 聞にIBMが「ワトソン」を日本市
 場に投入するという記事が載って3
 年。ちょうど事の次第が見えてくる
 年月、「ベーシックインカム」も表
 立って議論され始めました。

10年前の2007年、商店街の空き店
 舗に介護関連の事業所が後に入るの
 も普通になってきた頃、それを批判
 的に語る先輩診断士の人と会議で一
 緒になったことがあります。なん
 で？ これからは「くらし街」にな
 らないと感じたもの。

ネット×AI。仕事の種類も仕方
 もさらに劇的に変わり、会社にはたま
 に往くだけで家を拠点に仕事する、
 あるいは近くのコワーキングスペ
 ースを拠点に独立して働く等など、仕
 事とくらしの場が一体化。

それに、大抵のモノや情報はネッ
 トやAIで賄える。でも、日常のく
 らしは足元にあり。地域に働きやす
 さ、暮らしやすさを求める目が強く
 なりそうです。実際にそのために動
 く人も増えそう。自分たちで<ユ
 ートピア>づくりを目指す。そんな潮
 流を感じる今日この頃です。